



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合							
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2						
20ULAR2002	景観建築英語Ⅳ	2	国際的に活躍できる建築・景観設計技術者として必要な、英語で自由にコミュニケーションを行うことができる基礎的能力を習得するために、建築・景観設計にかかわる基本的な語彙を増やすとともに、読む・聞く・話す・書くといった4技能をバランスよく学習することを目的とする。	英語を自由に読み、書き、聞き、話すことができる基礎的能力を向上させるとともに、建築・景観設計にかかわる基本的な語彙を身につける。これにより、英語を使って自らの主張を提案し、合意を形成するために必要な基礎的能力をより向上させる。	◎														
20ULAR1003	景観建築数学	1	解析学、線形代数学、確率・統計学の初歩を、景観建築学の諸分野への応用を前提に学ぶ。これを通して、景観建築にかかわる人間生活や社会、自然における諸現象を数量的に理解し、記述する手法を理解することを目的とする。	景観建築を学ぶ上で重要な数学の基礎を習得し、向上させるとともに、景観建築学における様々な問題解決に活用するための基礎的能力を培う。	◎														
20ULAR1004	景観建築物理	1	力学を中心に、振動、光、熱も含めて、景観建築の安全性や快適性に影響する自然現象の普遍的な法則を学ぶ。これを通して、景観建築を取り巻く自然現象を数量的に理解し、記述する手法を理解することを目的とする。	景観建築を学ぶ上で重要な物理学の基礎を習得し、向上させるとともに、景観建築学における様々な問題解決に活用するための基礎的能力を培う。	◎														
20ULAR1006	生態学	1	個々の生物種に関する知識や、地球生態系における生物の生活と環境との密接なかかわりを通して、生態学の基礎を理解することを目的とする。	「種」の多様な生活様式や種間の関係のありかたを理解するとともに、個体群、生物群集、生物多様性、生態系機能について学ぶことによって、生物や自然に関する基礎的知識を習得する。	◎						○								
20ULAR1201	表現基礎演習	1	様々な芸術家と協働した造形演習を通して、空間構成の基礎的能力と豊かな感性を培うことを目的とする。	主に「美」の視点から、真に人間的な住環境を創生するために必要な基礎的表現能力と豊かな感性を培う。							◎							○	
20ULAR1212	設計基礎演習	1	空間の基礎的な概念と、日本の伝統的な自然観と空間構成を理解し、それを踏まえた建築・景観設計を学ぶことを目的とする。そのため、小規模な建築と庭園を一体的に設計する演習を行う。	空間と自然観に対する基礎的理解に根ざした、小規模な建築・景観設計の演習を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、真に人間的でかつ自然環境と共生した住環境を創生する基礎的能力を培う。	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○					
20ULAR2211	景観建築設計演習Ⅰ	2	日本および西洋の建築、庭園の歴史や特徴を理解し、それを踏まえた建築・景観設計を学ぶことを目的とする。そのため、住宅と庭、小ホテルと西洋式庭園をそれぞれ一体的に設計する演習を行う。	歴史・文化に対する基礎的理解に根ざした小規模な建築・景観設計の演習を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、真に人間的でかつ自然環境と共生した住環境を創生する基礎的能力を培う。	◎	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎					
20ULAR2212	景観建築設計演習Ⅱ	2	日本の山水風景の特徴、および住まいとコミュニティの関係を理解し、それを踏まえた建築・景観設計を学ぶことを目的とする。そのため、渓流沿いの建築と庭園を設計する演習と、コミュニティの形成を促す集合住宅とその中庭、公園を設計する演習を行う。	風景や家族、集団に対する理解に根ざした建築・景観設計の演習を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、真に人間的でかつ自然環境と共生した住環境を創生する基礎的能力をより向上させる。	◎	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎					



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合						
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2					
20ULAR2202	景観映像情報演習Ⅱ	2	「景観建築設計演習Ⅱ」と連携し、より効果的な景観シミュレーションを学ぶ。またGIS(地理情報システム)を「景観建築設計演習Ⅱ」の設計課題に応用する演習も行う。	建築・景観設計を学ぶ上で重要な、より高度な映像情報技術とその活用方法を身につけ、建築・景観設計における問題解決や提案に活用できる基礎的能力を培う。	◎													
20ULAR4212	卒業研究	4	3年半で修得した「真」「善」「美」の総合として、各自がテーマを設定し、それに基づく研究を進め、その成果を卒業論文、卒業設計として総合化してプレゼンテーションする。これにより、大学院においてより高度な職能を身につけるために、あるいは建築・景観設計技術者として自律的に行動し、活躍するために必要な基礎的能力を確立することを目的とする。	「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を習得する。また真に人間的な住環境形成のために、継続的に学習できる能力を習得し、自律的活動ができる職能人としての素養を十分に理解する。	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○					
20ULAR1321	日本建築史	1	日本建築の歴史と、伝統的な様式、空間構成、構造、意匠、材料などを学ぶとともに、その歴史的、美的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、日本の文化を考察し、新たな文化を創生する能力を育むことを目的とする。	日本建築の歴史、文化に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。							◎							
20ULAR2321	世界建築史	2	西洋建築を中心に、その歴史と空間構成、その背景にある建築思想を学ぶとともに、その歴史的、美的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、地域の文化を考察し、新たな文化を創生する能力を育むことを目的とする。	西洋を中心とした世界の建築の歴史、文化に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。							◎							
20ULAR2322	近代建築史	2	欧米と日本を中心に、近代建築の誕生とその歴史、代表的な建築家やその制作、思惟を学ぶとともに、近代建築がもつ歴史的、美的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、近現代の建築を考察し、新たな建築を創生する能力を育むことを目的とする。	近代における国内外の建築の歴史、文化に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。							◎							
20ULAR2323	建築計画	2	主に機能性や防災安全性、文化、地球環境問題の観点から、建築の設計や計画に関わる基礎知識の習得を目的とする。そのため人間行動と建築計画の基礎的關係について、人文・社会科学や数理科学も活用しながら具体的に学ぶ。	人間の行動特性と建築の設計、計画との基礎的關係を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「用」その他の視点から、人間行動にとって最適な空間を構成する基礎的能力を培う。		○	◎			○								
20ULAR2332	建築環境工学Ⅰ	2	建築環境工学における光環境、日射環境、空気環境等の基本事項を学ぶ。また、建築設計における光環境、日射環境、空気環境等にかかわる基本的課題を、空間構成によって解決する能力を身につけることを目的とする。	建築の機能性や快適性と、光環境、日射環境、空気環境等の関係を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する基礎的能力を培う。				◎		○	○							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅 な 徳 性	D. 高い知性、 善美な情操、高 雅な徳性の総合			
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2		
20ULAR3332	建築環境工学Ⅱ	3	建築環境工学における音環境、熱環境、湿気環境等の基本事項を学ぶ。また、建築設計における音環境、熱環境、湿気環境等にかかわる基本的課題を、空間構成によって解決する能力を身につけることを目的とする。	建築の機能性や快適性と、音環境、熱環境、湿気環境等の関係を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する基礎的能力を培う。				◎			○	○			
20ULAR4341	建築設備	4	建築設備や音環境の基礎事項を学ぶ。具体的には、空調設備、衛生設備、電気設備等の設備システムの基礎や、設備設計にかかわる技術者倫理、および騒音防止計画、音響設計の基礎を習得し、これらの理解を踏まえた建築設計ができるようになることを目的とする。	建築の機能性、快適性を確保するために重要な、建築設備、音響設計、および技術者倫理の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する基礎的能力を培う。				◎			○	○			
20ULAR2351	構造力学Ⅰ	2	構造物の安全性を確保する上で重要な、静定構造力学の基礎を学ぶ。具体的には、力とモーメントの釣合いの理解を踏まえ、様々な荷重によって静定構造物にどのような力が働くかを理解することを目的とする。	構造物の安全性を確保するために重要な、静定構造力学の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎									
20ULAR2352	構造力学Ⅱ	2	構造物の安全性を確保する上で重要な、不静定構造力学等の基礎を学ぶ。具体的には、構造材料や部材断面の力学的性質を理解した上で、様々な荷重によって不静定構造物にどのような力が働き、どのような挙動をするのかを理解することを目的とする。	構造物の安全性を確保するために重要な、不静定構造力学の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎									
20ULAR1362	建築一般構造Ⅰ	1	建物に作用する様々な荷重や、建築をかたちづくる一般的な構法の概要等、建築一般構造の基礎知識について学習し、建築構法と構造的な安全性の関係を学ぶ。また屋根、壁、床、階段等多くの建築物に共通の構法や和室の造作等を学び、建築構法と技術、歴史、文化の関係も理解することを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、建築一般構造の基礎を理解する。また建築構法と技術との関係や、これらがもつ歴史的、文化的価値を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、主に「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎					○	○			
20ULAR3361	建築一般構造Ⅱ	3	建築物の構造システムがもつ一般的な力学的特性を学び、構造安全性を確保する上での構法の重要性を理解する。また建築設計において重要な収まりについて、その安全性、施工性、保守性、意匠性も含めて学ぶことを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造部材、非構造部材の構法の基礎を理解する。またこれらの構法がもつ歴史的、文化的価値も理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、主に「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎					○				
20ULAR3371	建設材料	3	構造物を構成する建設材料の組成、製造法、材料特性、力学的特性、およびそれらの特性を活かした基本的な部材設計についての考え方を理解することを目的とする。建設材料としては、最も一般的に使用されている木材・木質材料、コンクリート、鋼を対象とする。	構造物の安全性を確保するために重要な、構造材料の基礎と技術者倫理を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、主に「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎						○			





科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合						
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2					
20ULAR2421	景観建築原論	2	景観建築の基本的事項や、景観に関する法制度等の理解にはじまり、景観の分析や評価等に関する事項、景観を構想・計画する手法、さらに景観を設計する手法等について習得する。また景観建築家の作品研究を通じて、具体的な景観創造の手法について学ぶことを目的とする。	都市および地域の景観およびその構造について理解する。これにより、快適で美しい景観や建築を創造するための基礎的能力を培う。				◎		◎								
20ULAR3421	景観緑地計画論	3	緑地の持つ基本的な機能、法制度、緑地の保全・保護・管理等の理論と手法についての基本事項などを学ぶ。また、緑地の構想・計画のプロセスと手法を学ぶとともに、その理論と実際について、国内外の実例を通して学習することを目的とする。	緑地に関する基礎的知識、および緑地計画にかかわる理論と実際について理解する。理解した基礎的知識を景観設計に活用する能力を培う。				◎			○	○						
20ULAR3464	景観設計施工技術	3	景観設計と施工の関係性、施工工程等について学ぶ。また代表的な工種の特性と内容の構成、造園材料、建設材料等の素材についての学習に取り組む。加えて施工管理の概要と手法および関連法規を学ぶことを目的とする。	景観設計とその施工に携わる上で重要な、施工技術の基礎を理解する。理解した基礎的知識を景観設計に活用する能力を培う。					○		◎						○	
20ULAR1451	景観建築植物学	1	景観的に優れ、かつ持続可能な植栽を計画するためには、環境条件に応じた種を適切に選択することが重要である。植栽に用いられる景観植物に関する基礎を学び、景観植物への理解を深めることを目的とする。	景観植物に関する基礎を理解する。理解した基礎的知識を建築・景観設計に活用する基礎的知識を培う。	◎			◎			○							
20ULAR1551	景観建築植物実習Ⅰ	1	建築・都市緑化に用いられる景観植物を継続的に観察することにより、その分類や名称への理解を深めるとともに、景観植物を正確に同定し、建築・景観設計に活用する能力を養うことを目的とする。特にこの科目では春から夏にかけて開花する草本植物の同定と特性の理解に重点を置く。	景観植物の経時的、季節的変化を実践的に学ぶとともに、建築・都市緑化に必要な基本的技術を身につけ、建築・景観設計へ応用するための基礎的能力を培う。	○				○	○	○	○	○	◎		○		
20ULAR1552	景観建築植物実習Ⅱ	1	「景観建築植物実習Ⅰ」に引き続き、建築・都市緑化に用いられる景観植物を継続的に観察することにより、その分類や名称への理解を深めるとともに、景観植物を正確に同定し、建築・景観設計に活用する能力を養うことを目的とする。特にこの科目では秋から翌春にかけて開花する草本植物の同定と特性の理解に重点を置く。	景観植物の経時的、季節的変化を実践的に学ぶとともに、建築・都市緑化に必要な基本的技術を身につけ、建築・景観設計へ応用するための基礎的能力を培う。	○			○	○	○	○	○	◎		○			





科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合		
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2	
20ULAR1501	景観建築フィールドワークⅠA	1	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、1年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	1年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎			
20ULAR1502	景観建築フィールドワークⅠB	1	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、1年後期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	1年後期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎			
20ULAR2501	景観建築フィールドワークⅡA	2	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、2年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	2年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎			
20ULAR2502	景観建築フィールドワークⅡB	2	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、2年後期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	2年後期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎			
20ULAR3501	景観建築フィールドワークⅢA	3	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、3年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	3年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎			
20ULAR3502	景観建築フィールドワークⅢB	3	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、3年後期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	3年後期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合	
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2
20ULAR4501	景観建築フィールドワークⅣ	4	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、4年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	4年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		